

経済・金融フラッシュ

No.08-039 2008/06/09

5月マネー関連～都銀等の貸出が14カ月ぶりに前年比プラス

ニッセイ基礎研究所 経済調査部門 主任研究員 矢嶋 康次

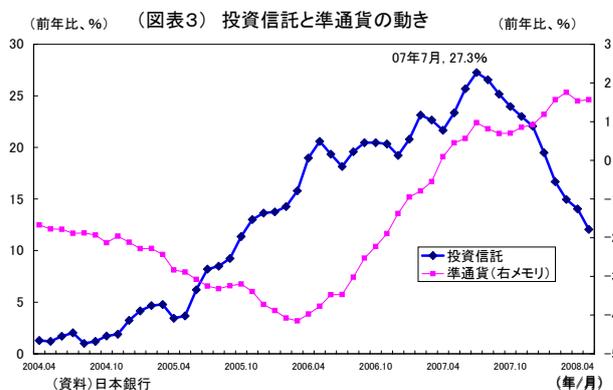
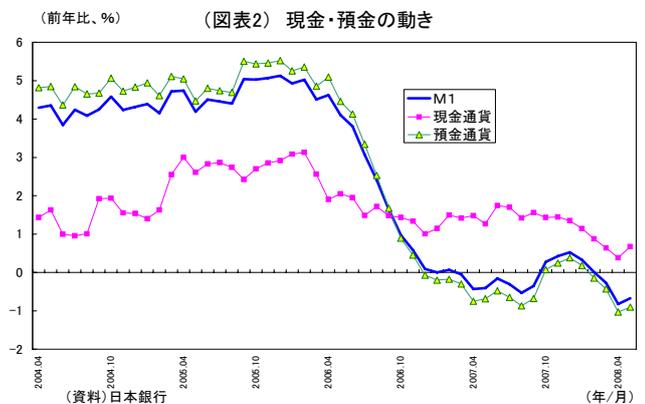
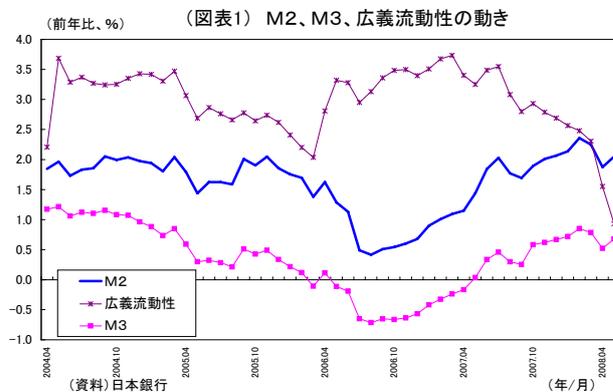
TEL:03-3512-1837 E-mail:yyajima@nli-research.co.jp

1. マネー：マネーサプライからマネーストック統計に変更

日銀は9日にこれまでの「マネーサプライ」を変更した「マネーストック」統計を初めて発表した。従来代表的指数だったM2+CDに変わるM2（現金、国内銀行などの預金）は5月前年比2.0%増と、4月の1.9%増から伸びが加速した。

M2にゆうちょ銀などすべての預金取扱金融機関の預貯金を含めたM3も前年比0.7%増となり、4月の0.5%増より拡大した。

M3に信託などを含めた広義流動性は0.9%増となり、こちらは4月の1.6%増から伸びが鈍化した。内訳では投信（10ヶ月連続で減少）の減少幅拡大の動きが継続している。

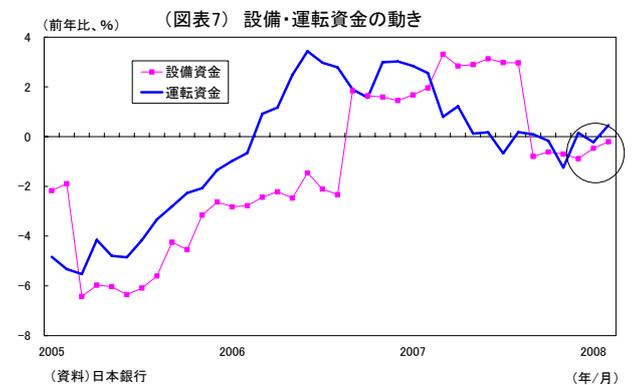
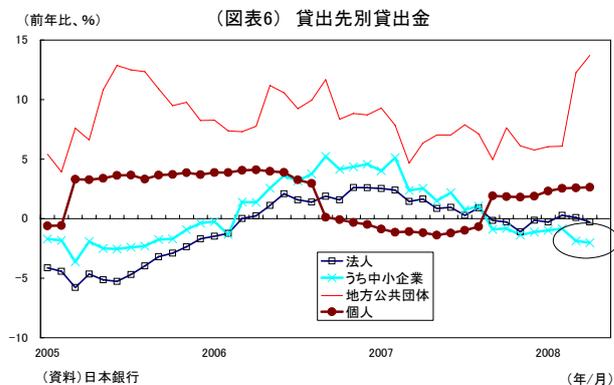
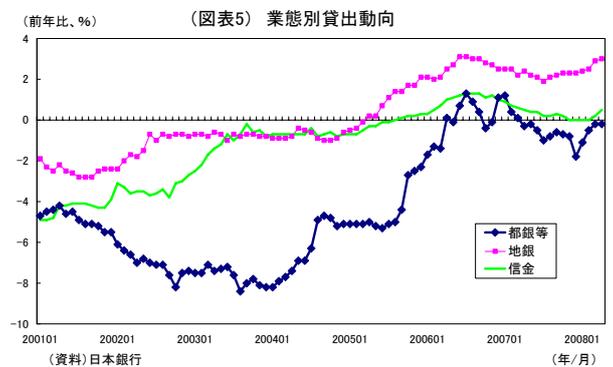
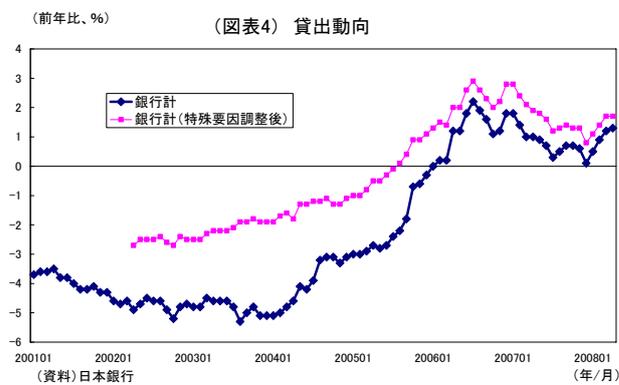


2. 貸出動向：都銀等が07年3月以来14カ月ぶりに前年比プラス

日本銀行が6月9日に公表した貸出・資金吸収動向等によると、5月の総貸出（平残、銀行・信金計）は前年比1.5%（28カ月連続のプラス）と増加を続けている。業態別では、都銀等が同0.2%と07年3月以来14カ月ぶりに前年比プラスとなっている。

伸び率上昇は、原材料などコスト上昇に伴う運転資金需要が強いほか、地方公共団体向け、住宅ローンも高い伸びを示したことが寄与している。

ただし、中小企業の減少幅拡大の動きは続いており強弱両面の動きが見られる。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものでもありません。

(Copyright ニッセイ基礎研究所 禁転載)